

平成 25 年度 会計別決算総括表 (水道事業会計は除く)

会計名	歳入	歳出	差引残額	
一般会計	54億 811万 7,000円	49億 6,150万 4,000円	4億 4,661万 3,000円	
特別会計	国民健康保険	15億 3,403万 7,000円	14億 2,124万 6,000円	1億 1,279万 1,000円
	住宅資金貸付事業	184万 8,000円	106万 7,000円	78万 1,000円
	下水道事業	1億 1,233万 3,000円	9,918万円	1,315万 3,000円
	農業集落排水処理事業	2億 6,291万 9,000円	2億 5,427万円	864万 9,000円
	介護保険	8億 9,618万円	8億 6,487万 8,000円	3,130万 2,000円
	後期高齢者医療	1億 29万 8,000円	9,780万 8,000円	249万円
総合計	83億 1,573万 2,000円	76億 9,995万 3,000円	6億 1,577万 9,000円	

賛成 討論

適切に執行された 決算である



町では、一般会計の歳入総額は54億811万7,000円、歳出総額は49億6,150万4,000円で、前年度に比べ歳入は12.1%の増、歳出は13.3%の増となっています。

歳入・歳出の前年度に対する増の主な要因は、国営かんがい排水事業神流川沿岸地区負担金の7億7,386万4,000円を繰り上げ償還したことによるものです。

町税は、18億2,719万9,000円となり、6,917万3,000円の減額であり、地方債は5億8,840万円で、2億7,540万円の増額でした。歳出の増減内容としては、小学校の校舎改修工事費等の減により教育費が3億6,917万7,000円となり1億8,160万4,000円の大幅な減額となりました。

財政の厳しい中、公共交通利用料金補助事業の導入準備を行い、寄居PAスマートICの推進事業や住民への各種サービス等の実施や生活環境諸施策等も確実に推進され、適切な決算であり賛成討論といたします。

一般会計決算に関する討論

反対 討論

町民の暮らし・福祉を 守る決算ではない



公共料金や税の据え置きは将来に負担を先送りするだけと国民健康保険税などを引き上げてきました。「国営神流川土地改良事業」(農業用水施設)の負担金7億8,000万円の支出に見合った事業計画がありませんでした。町の未来が開けると「寄居PAスマートインターチェンジ」の28年10月の開通を目途に2億2,500万円を計上しましたが、多額を繰り越しました。住民に理解されない住基カードに代わるマイナンバーカード導入の準備を進めています。工場立地促進奨励金は883万4,000円で2社への交付だけで工場を誘致できませんでした。教育では先生も生徒もゆとりのない教育を進めました。社会教育の各種委員を社会教育委員に一本化しましたが、生涯学習振興のための環境整備や町民の多様な学習機会の充実をすることができませんでした。

以上の点を指摘し、「基幹産業である農業を守り発展させ、中小企業や、商店が安心して仕事ができ、町民の暮らしと生活を守り、福祉の向上と健康で心豊かな町民生活を守ること」が町の仕事ですが、平成25年度一般会計決算は、そうした施策が不十分な決算ですので反対いたします。

討論とは、議案などについて、賛成・反対の意見を述べ合うことです。通常は賛成と反対を交互に行いますが、どちらか一方だけの場合もあります。

